

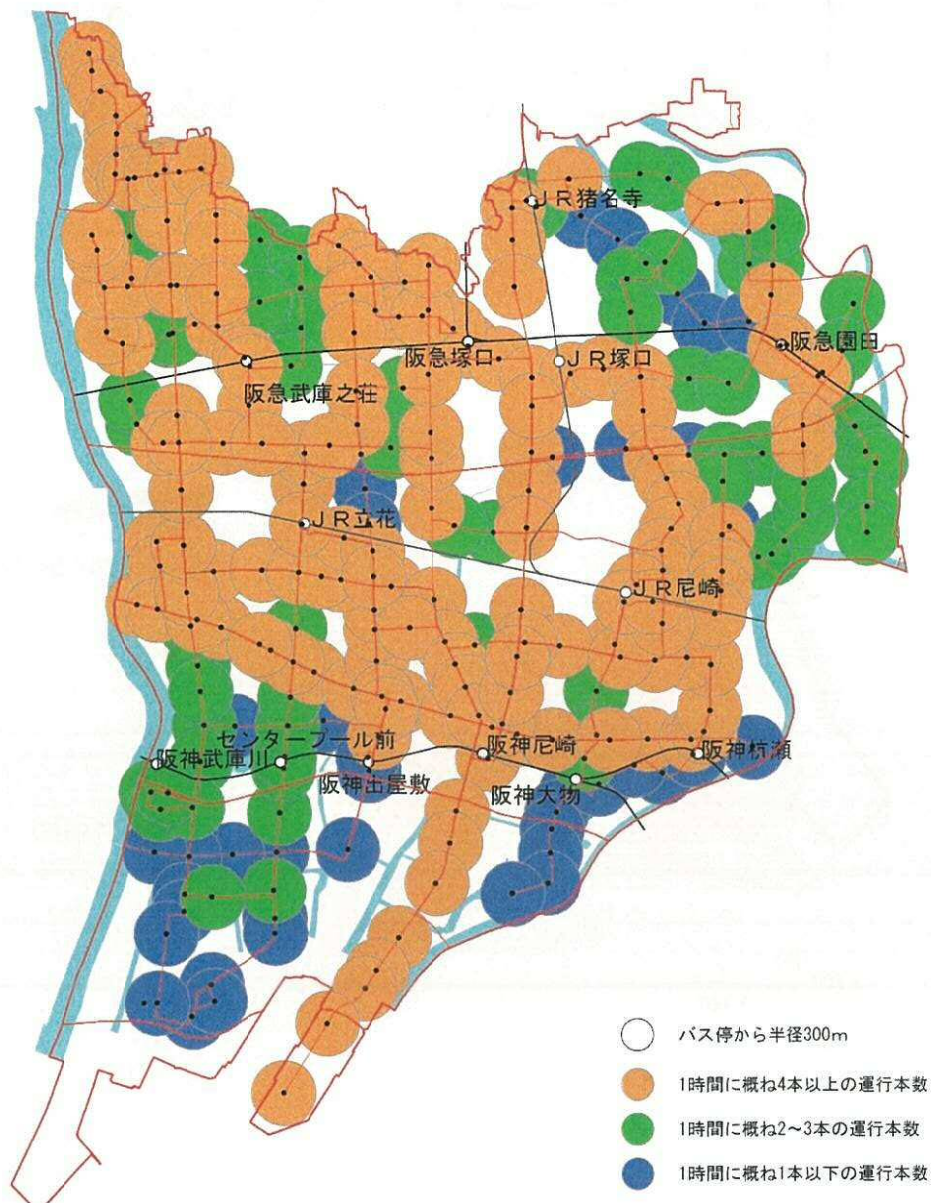
(4) 都市交通

ア) バスの運行状況

公共交通は、鉄道のほか路線バスが運行しており、250以上のバス停が市域に広く分布しています。

バス停ごとの路線バスの運行本数は、市の東部や国道2号以南など比較的人口密度の低い地区では1時間に3本以下となっています。ただし、人口密度の低い地区でも駅から離れている大規模な事業所や集客施設があるバス停における運行本数は1時間に4本以上となっています。

バス路線ネットワークと運行本数



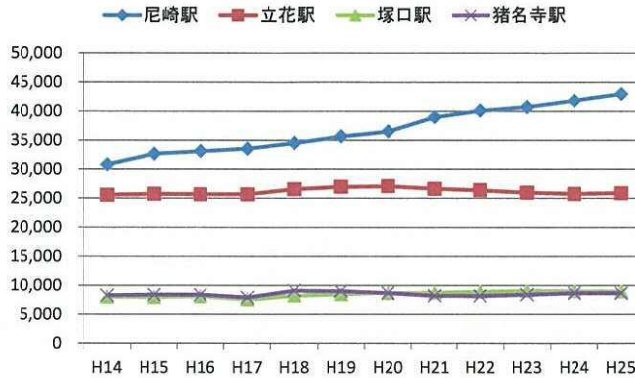
(出典：市資料)

イ) 公共交通の利用状況

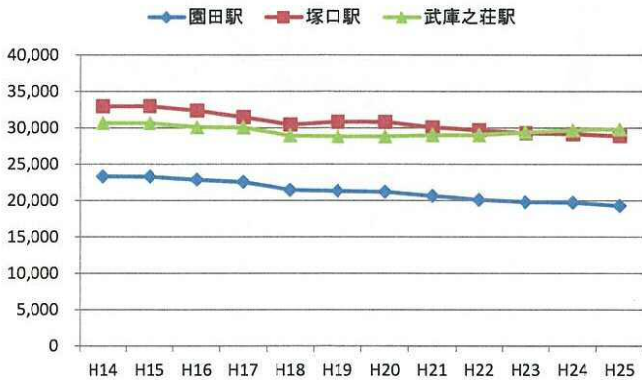
鉄道の利用者数は、阪急園田駅や阪急塚口駅、阪神杭瀬駅で減少傾向が続いています。

市内路線の大部分を運行していた市営バスの乗客数は平成 22 年（2010 年）に高齢者市バス特別乗車証制度の一部有料化が実施されたことにより大きく減少していますが、それ以外の時期でも減少傾向が続いています。（市営バスは平成 28 年（2016 年）3 月 20 日に全路線を阪神バスに移譲。）

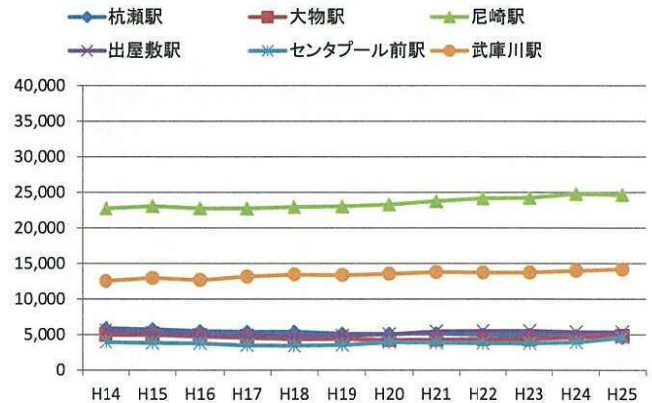
1 日平均乗客数の推移（JR）



1 日平均乗客数の推移（阪急電鉄）

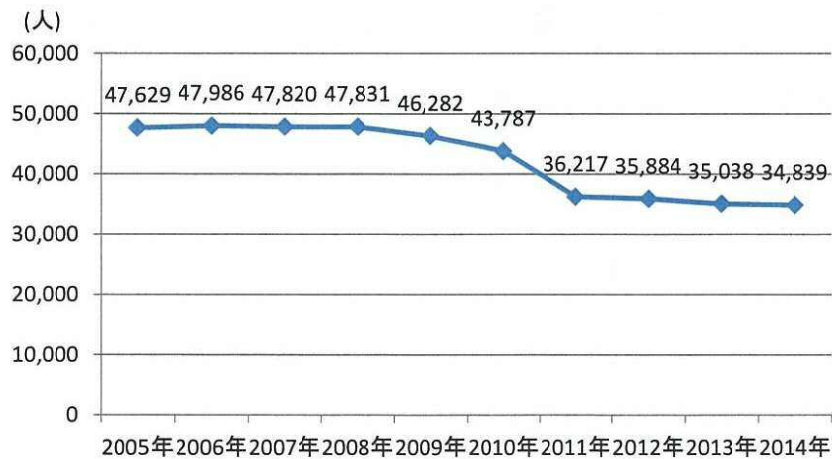


1 日平均乗客数の推移（阪神電鉄）



(出典：尼崎市統計書)

市営バスの 1 日平均乗客数の推移



(出典：尼崎市統計書)

ウ) 代表交通手段別分担率*

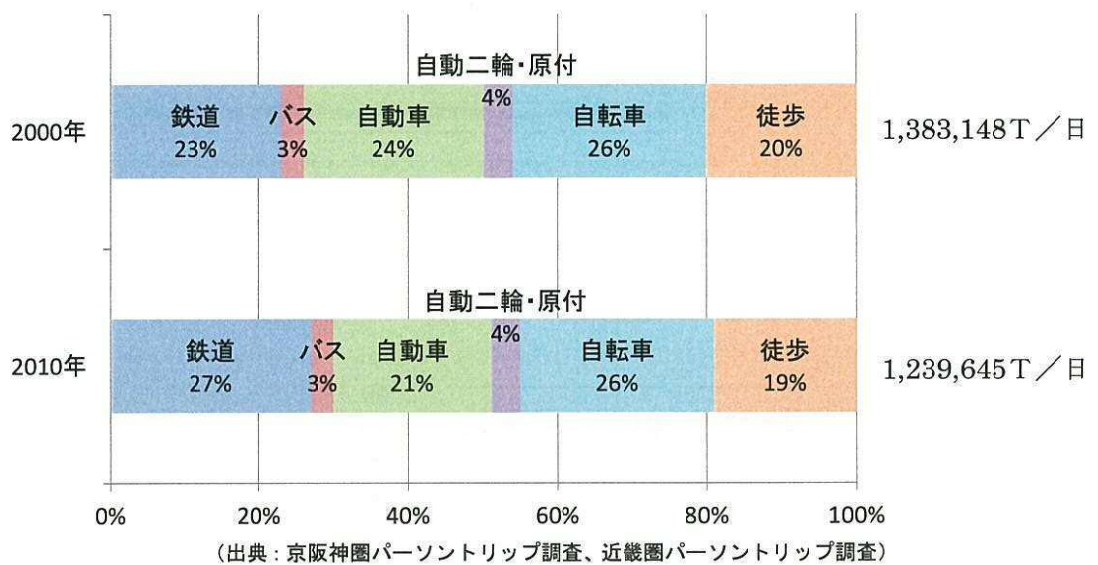
代表交通手段別分担率は、この10年間で鉄道の分担率が上昇しています。加えて、周辺4市と異なり、自動車より自転車の分担率の方が高いことが本市の特徴です。

※代表交通手段別分担率：移動の際に利用した交通手段の割合で、複数の交通手段を用いている場合、その中で利用した最も優先順位の高い交通手段の割合。

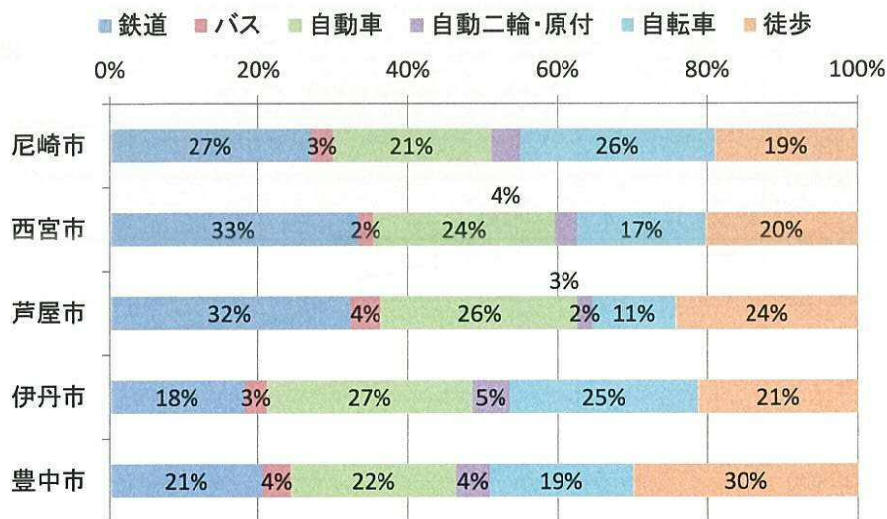
優先順位は

鉄道→バス→自動車→二輪（自転車、自動二輪・原付）→徒歩の順で決める。

代表交通手段別分担率の推移



周辺4市との代表交通手段別分担率の比較



(出典：近畿圏パーソントリップ調査)

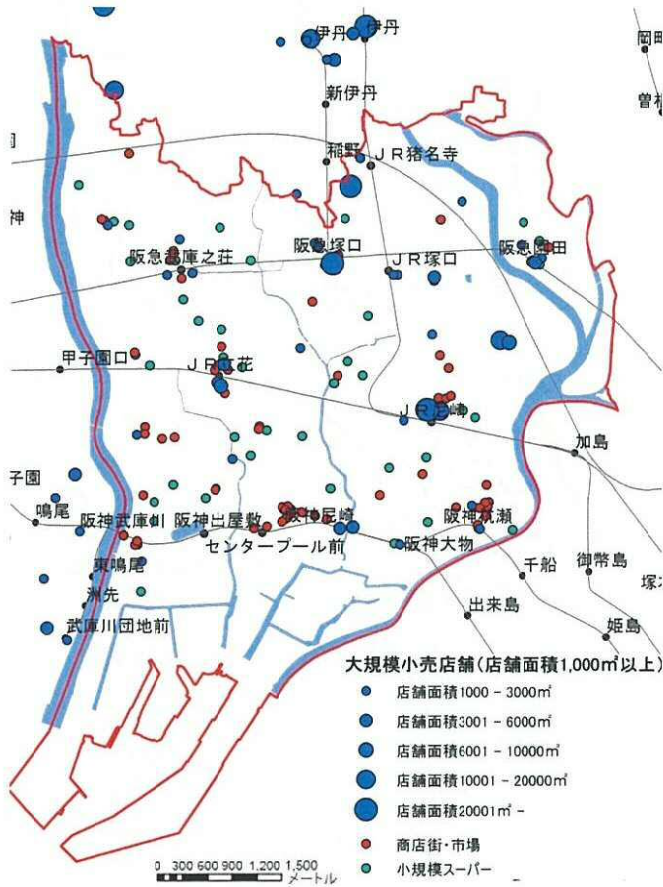
(5) 都市機能

ア) 施設の立地状況

駅前や主要幹線道路沿道に多くの大規模小売店舗や商店街・市場が立地しています。小規模スーパーは市域全域に広く分散して立地しています。

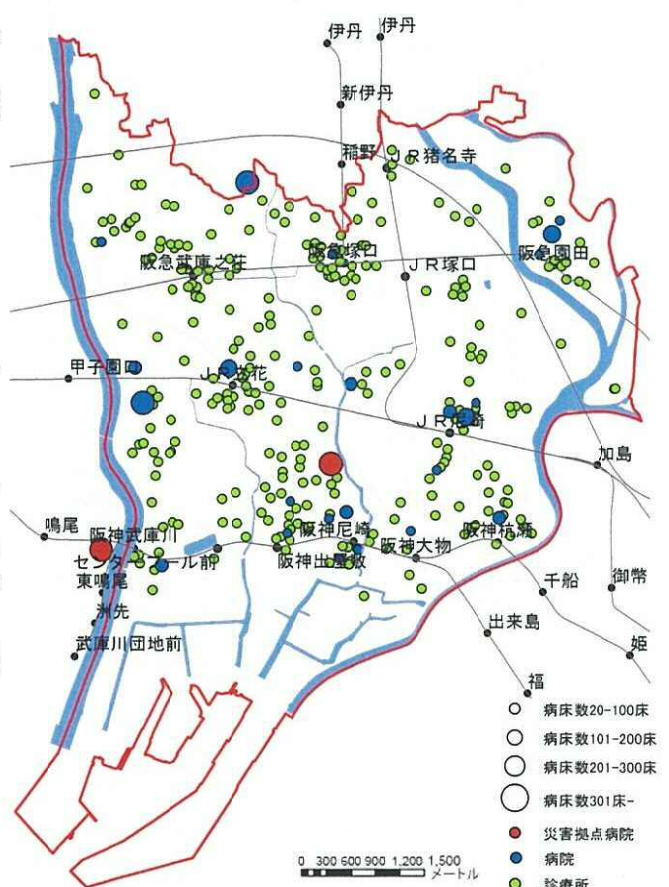
医療施設のうち、規模の大きな病院は主に駅周辺に立地していますが、一部駅から離れた場所に立地している病院もあります。災害拠点病院が市内に1件立地しています。また、診療所は市域全域に広く分散して立地しています。

商業施設の立地状況



(出典：全国大型小売店舗総覧をもとに作成)

医療施設の立地状況

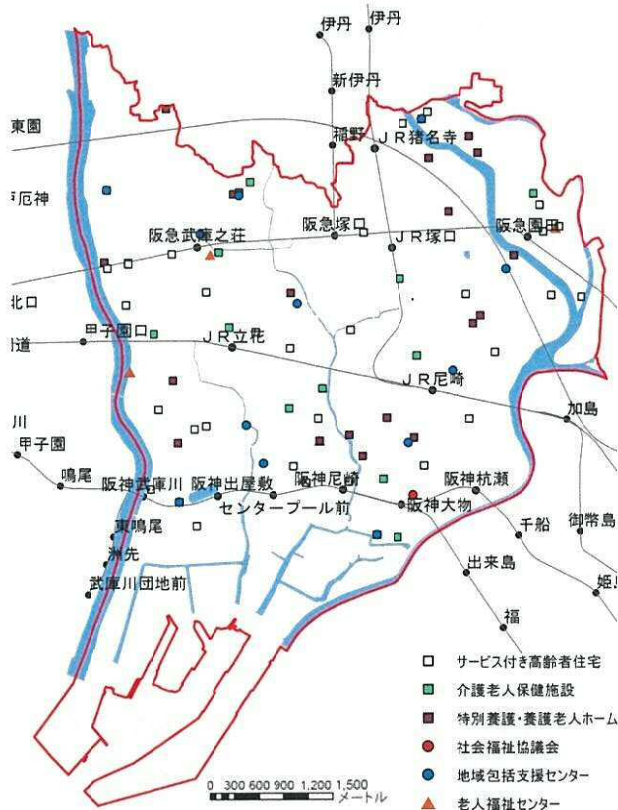


(出典：国土数値情報)

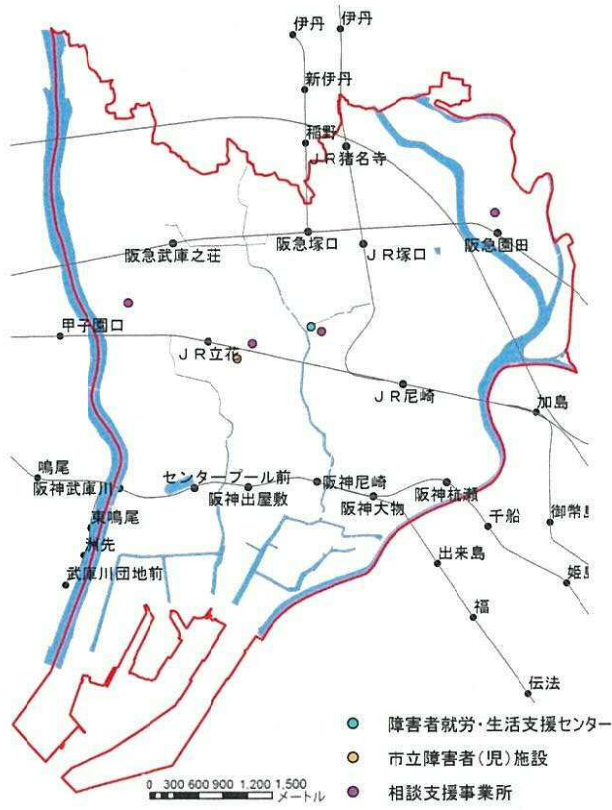
高齢者福祉施設、障害者福祉施設は、基本的に市域全域に広く分散して立地しています。地域包括支援センター、老人福祉センター、障害者就労・生活支援センター等全市あるいは地域を対象にした施設も必ずしも駅前に立地しているわけではありません。

子育て支援・教育施設、高等学校・高等教育機関は、いずれの施設も市域全域に広く分散して立地しています。

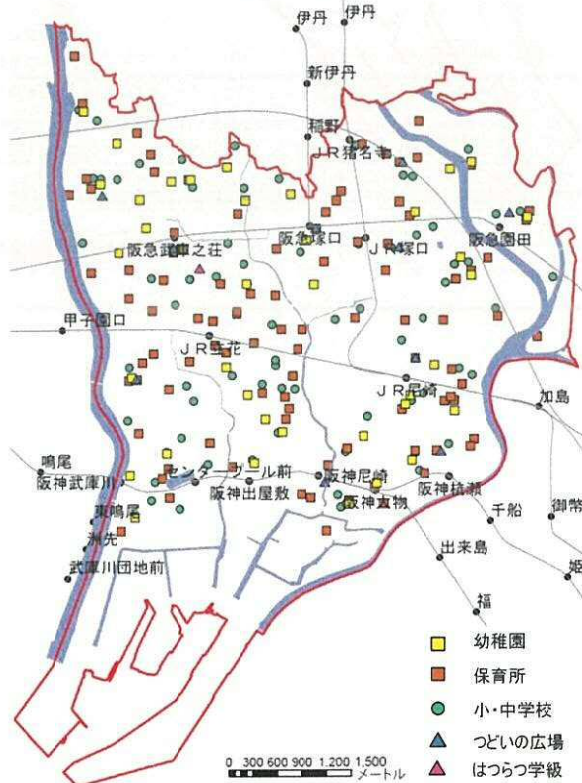
高齢者福祉施設の立地状況



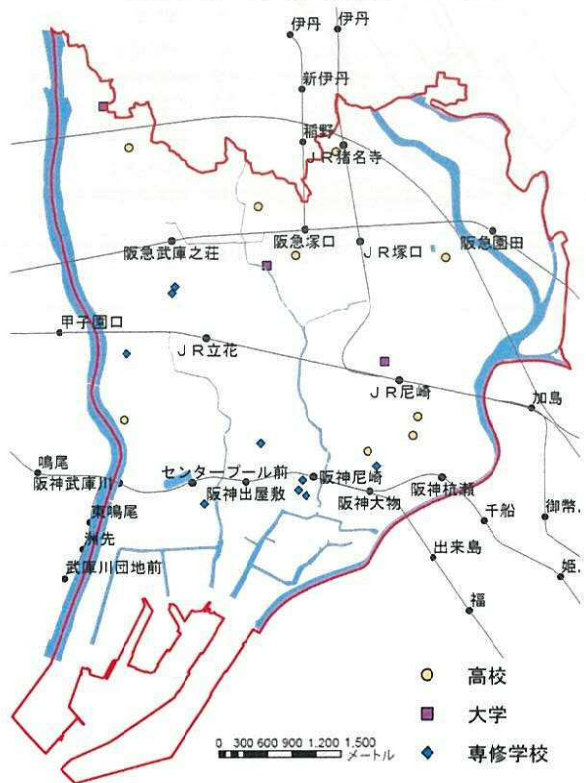
障害者福祉施設の立地状況



子育て支援・教育施設の立地状況



高等学校・高等教育機関の立地状況



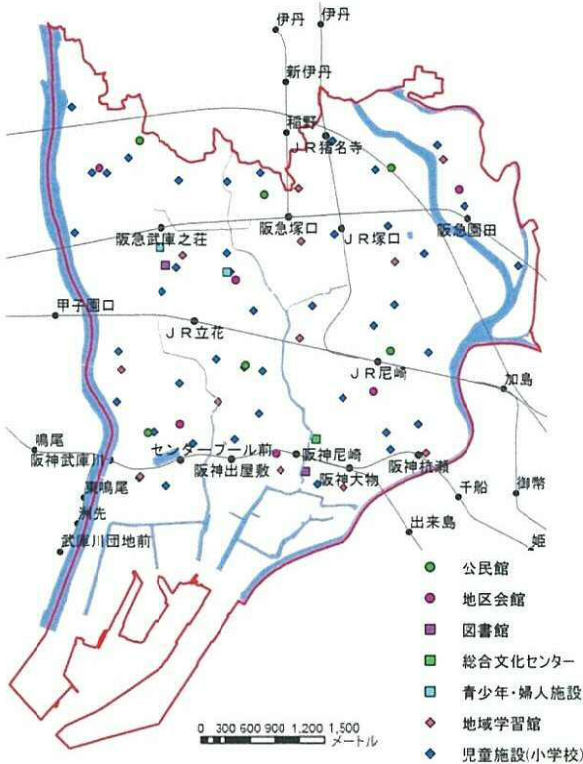
(出典：国土数値情報、市資料)

社会教育・文化施設のうち、公民館等は市域全域に広く分散して立地しています。図書館、総合文化センター等、全市を対象にした施設は一部駅から離れた場所に立地していますが、概ね駅の近くに配置されています。

国・県等施設については、阪神尼崎駅からJR立花駅の間に多く立地しています。

警察・消防関連施設は、必ずしも駅周辺に立地が求められる施設ではないことから、市域全域に広く分散して立地しています。

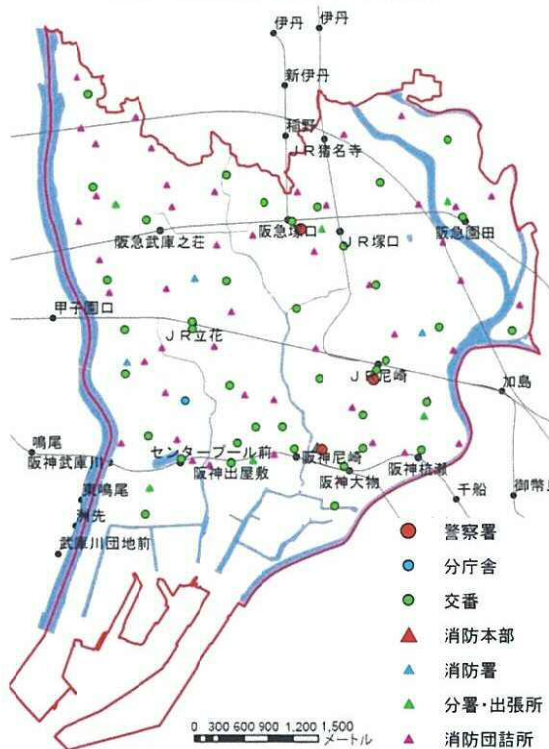
社会教育・文化施設の立地状況



国・県等施設の立地状況



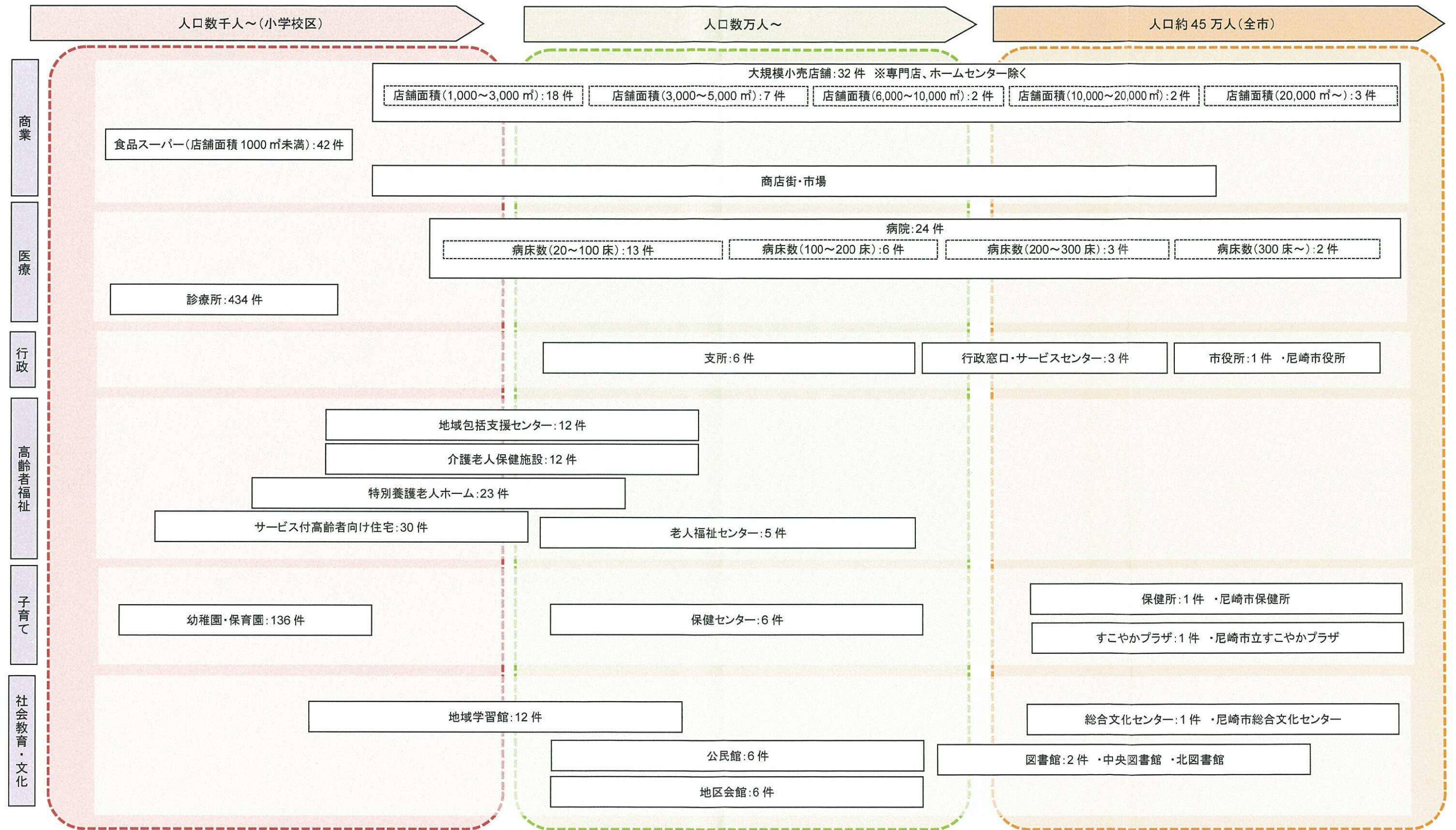
警察・消防関連施設の立地状況



(出典：国土数値情報、市資料)

イ) 各施設の配置状況

現在の都市施設の立地件数から、各施設の配置状況を整理すると、下図のとおりになっています。



(出典: 国土数値情報)

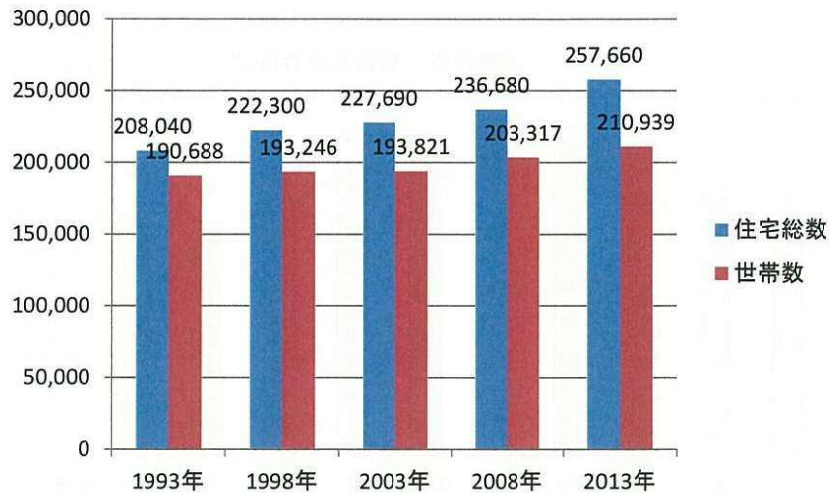
(6) 住宅

ア) 住宅総数・空き家数

世帯数はこの20年間で約10%、住宅総数は約20%増加しています。

一方、空き家数及び空き家率は、この15年間、ほぼ横ばいの状態が続いています。

住宅総数と世帯数の推移



空き家数と空き家率の推移



(出典：平成25年住宅・土地統計調査)

(7) 産業・経済

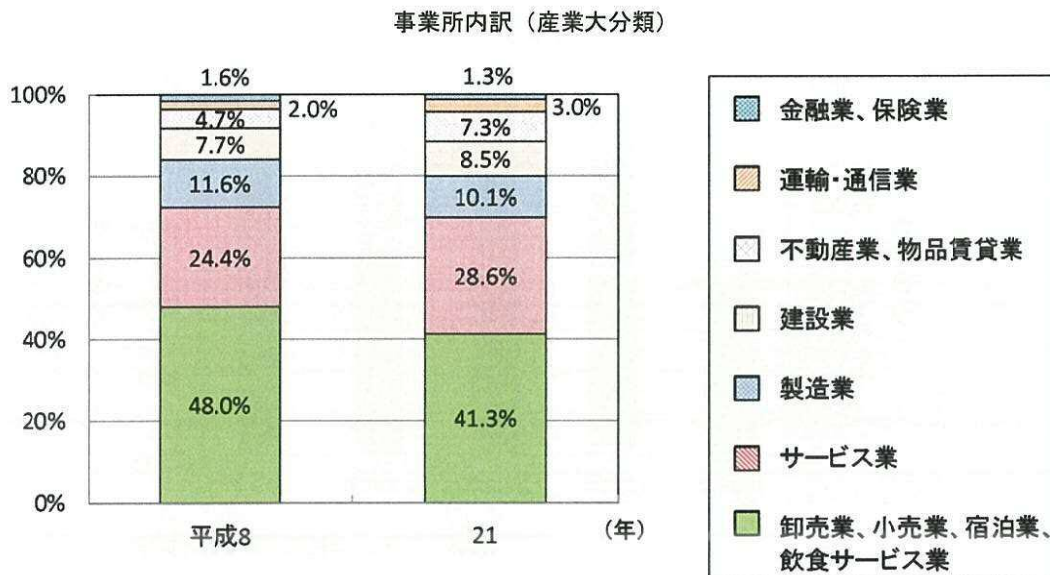
ア) 産業別事業所数

事業所数は、昭和56年（1981年）までは増加傾向でしたが、以降は減少傾向にあります。

また、事業所数を産業大分類別にみると、「卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業」「サービス業」が多く、経年的には「卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業」及び「製造業」は割合が減少しており、「サービス業」、「不動産業、物品賃貸業」は増加しています。



(出典：事業所・企業統計、経済センサス)



(出典：尼崎市統計書)

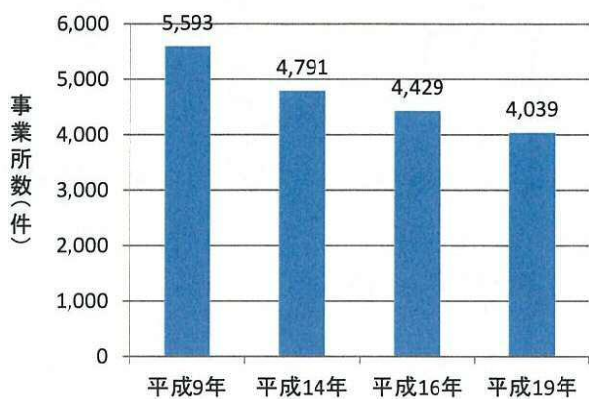
イ) 商業

小売事業所数は平成9年（1997年）から平成19年（2007年）までの10年間で約30%減少しており、小売販売額も同様に減少傾向でしたが、平成19年（2007年）には増加しました。

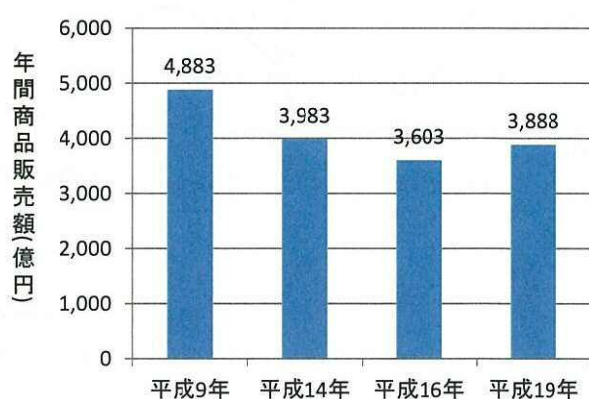
小売事業所数とは反対に、売場面積は約15%増加しており、事業所の大規模化が進んでいることがわかります。

小売従業者数は事業所数や売り場面積の変化と比較して、大きな変化はありません。

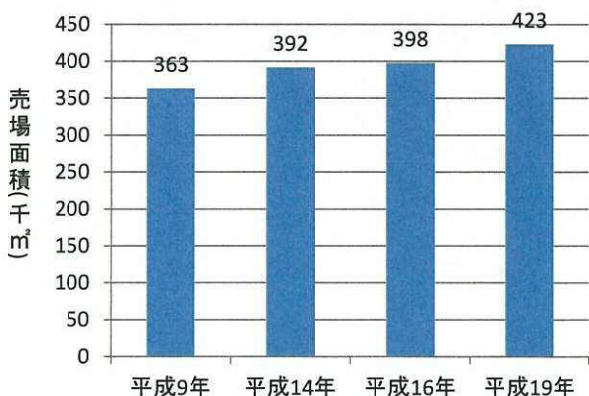
小売事業所数の推移



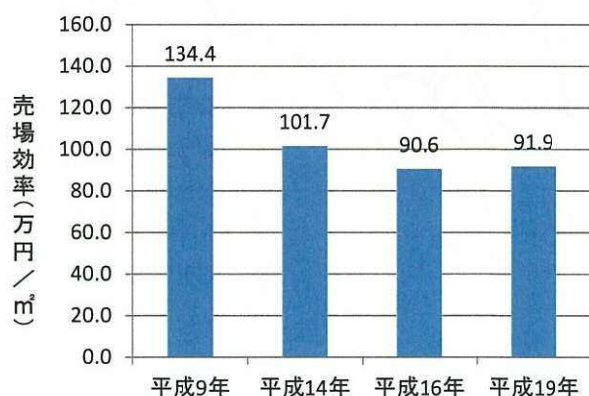
小売年間商品販売額の推移



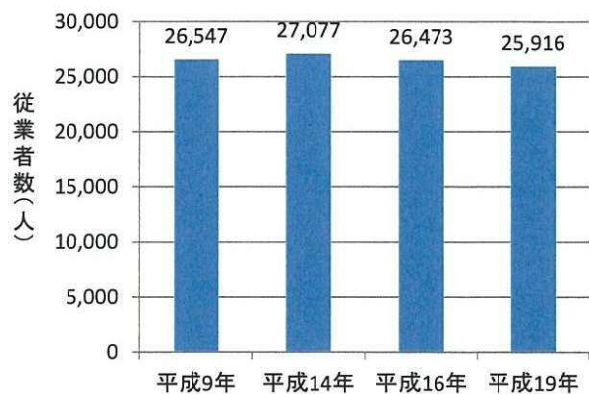
売場面積の推移



売場効率（売場面積あたり小売年間商品販売額）の推移



小売従業者数の推移



(出典：商業統計調査)

この 20 年間で立地した大規模小売店舗は、J R 尼崎駅及び J R 立花駅等の駅周辺だけでなく、幹線道路沿いにもあります。

空き店舗率の高い商店街・市場は、市南部、特に阪神沿線周辺に多くなっています。

20年間で立地した大規模小売店舗

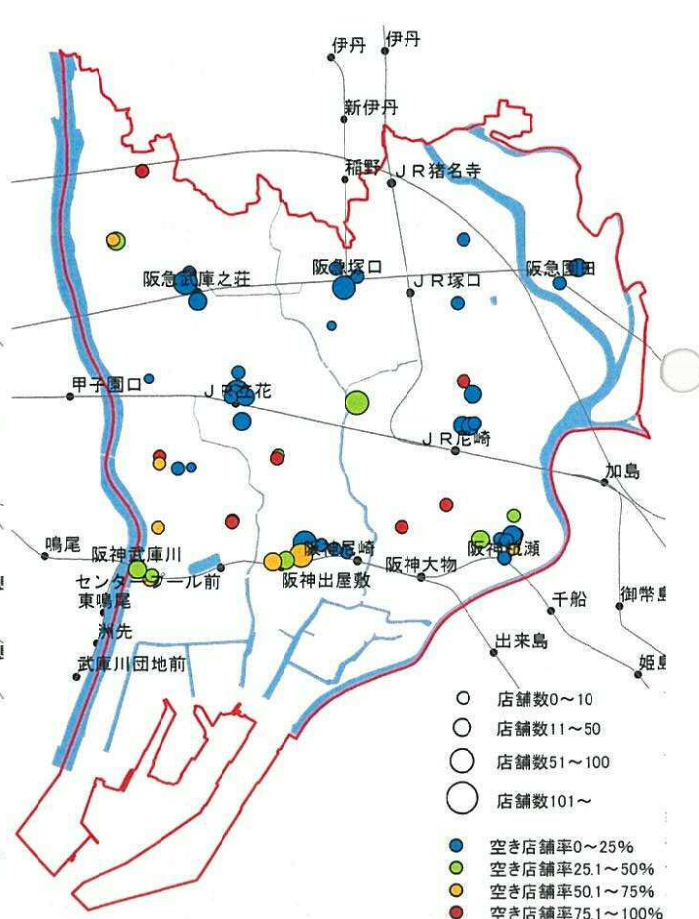
(平成7年(1995年)～平成27年(2015年)立地施設)



(出典：全国大型小売店総覧)

商店街・市場の空き店舗率

(平成21年(2009年))



(出典：市資料)

ウ) 観光

この4年間で観光客は10%以上、ホテル宿泊客数は50%以上増加しています。



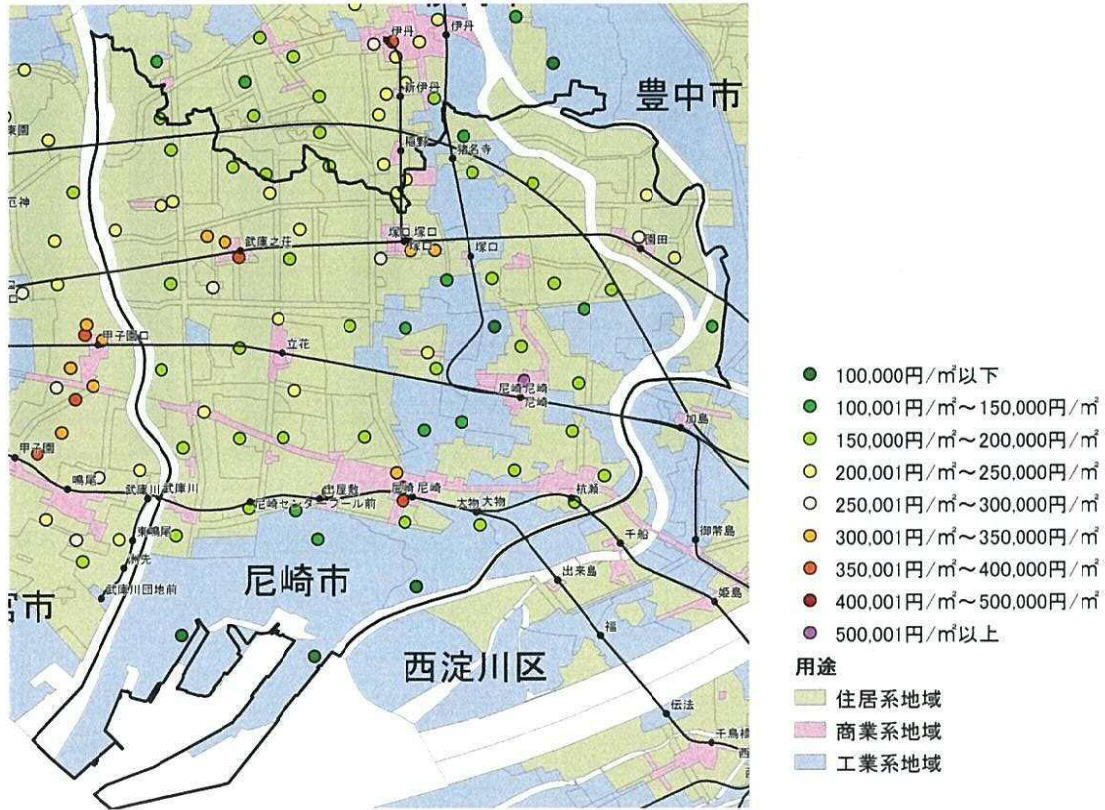
※6 ホテル、934 室/日、1,222 人収容/日

(出典：市資料)

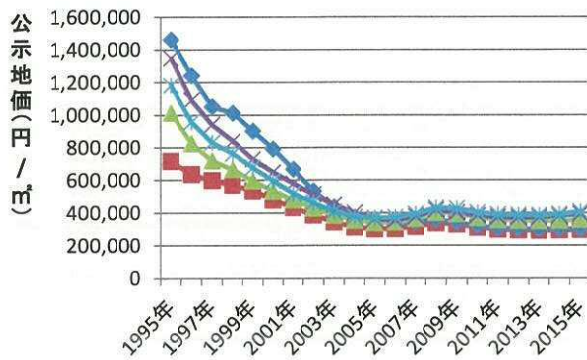
エ) 公示地価の推移

商業系地域と住居系地域の公示地価は平成7年（1995年）から平成17年（2005年）までの10年間でどちらも大きく下落していますが、この10年間は横ばいの状態が続いています。

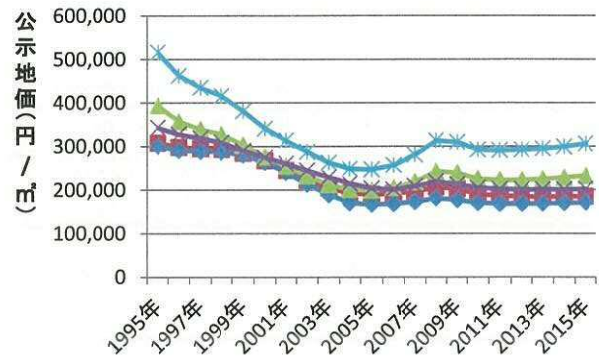
平成27年（2015年）公示地価



公示地価の推移（商業系地域）



公示地価の推移（住居系地域）



■ 尼崎市 ■ 伊丹市 ■ 西宮市 ■ 豊中市 ■ 芦屋市

(出典：国土数値情報)

(8) 災害リスク

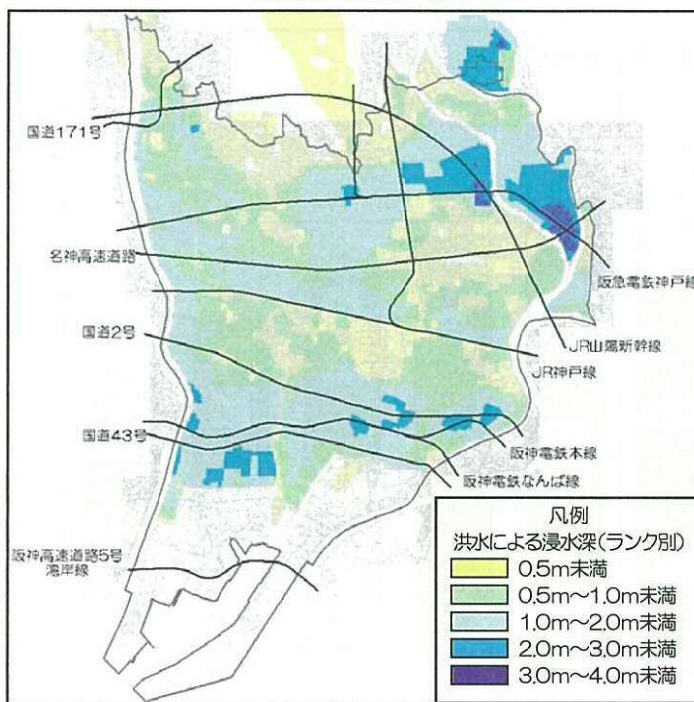
ア) 災害想定区域

市内の広い範囲で洪水による浸水想定区域となっており、特に猪名川、藻川に近接する阪急園田駅周辺では3.0m～4.0mの浸水が想定される区域となっています。

同様に、南海トラフ巨大地震による津波被害の想定では、JR神戸線以南を中心に浸水想定区域となっています。その他、内水氾濫や高潮による浸水等の災害リスクがあります。

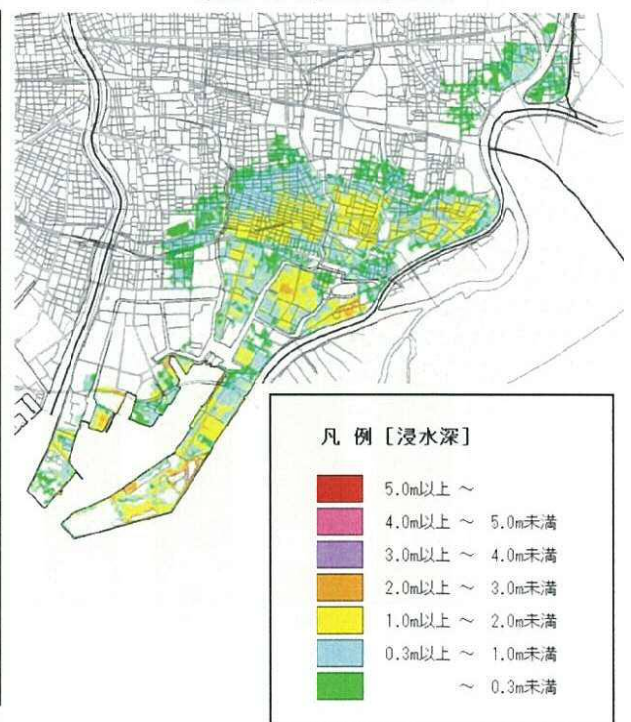
なお、本市においては、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、津波災害特別警戒区域、津波災害警戒区域、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域の指定はありませんが、一方で南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されています。

洪水浸水想定区域図



(出典：兵庫県CGハザードマップ 平成26年3月時点)

津波による浸水想定区域



(出典：兵庫県南海トラフ巨大地震津波浸水想定図
平成25年12月24日公表)

2-2 将来見通し

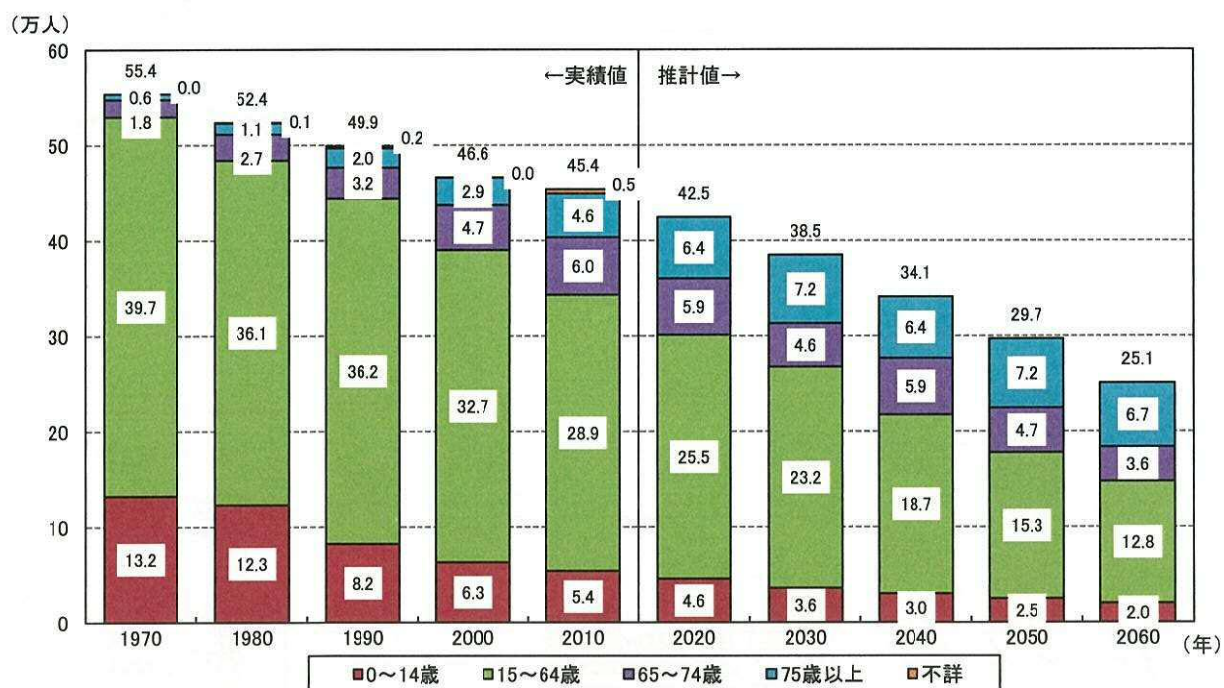
(1) 人口

ア) 人口推計（社人研推計※）

人口は対策を講じずこのままの傾向が続くと、平成42年(2030年)には人口は38.5万人となり、これまでより早いペースで人口減少が進みます。さらに、平成72年(2060年)には、人口は25.1万人となり、ピークであった昭和46年(1971年)の半分以下となります。

また、今後、生産年齢人口は大幅に減少し、高齢者、特に、後期高齢者人口が増加していきます。

将来推計人口



(出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)

※国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の人口推計結果は、平成22年（2010年）の国勢調査の男女・年齢別人口を基準として、人口動態率や移動率などを当てはめて将来人口を計算するコーホート要因法という方法で推計されている。